

令和6年度県政に対する要望(倉吉商工会議所:令和5年10月5日)

R6年度 要望項目	今年度 回答	担当部署
<p>1 コンテンツ活用の県支援 (1)倉吉の強みであるコンテンツ活用への支援 ①伯桜鵬関、牛骨ラーメン、フィギュア、アニメ、重要伝統的建造物群、ウォーク、癒し、関金、クライミングに対する支援をお願いしたい</p>	<p>伯桜鵬関については、県としてもコンテンツとして情報発信などに活用させて頂きたいと思えます。</p>	<p>地域社会振興部 スポーツ課</p>
	<p>牛骨ラーメンについては、県公式グルメサイト「とりたべ」において、牛骨ラーメンなど飲食店やイベント等の情報発信を行います。また、「食パラダイス鳥取県」づくり支援交付金により、本県の食の情報発信やイベント開催を行う団体の活動を支援することとしております。 【令和6年度当初予算に取り込まれた主な事業】 ○世界に誇るべき「食パラダイス鳥取県」推進事業 290,000千円</p>	<p>商工労働部 農林水産部 食パラダイス推進課</p>
	<p>まんがやアニメなどのコンテンツを活かし、本県の観光誘客を促進する市町村等の取組を支援します。また、令和6年度に新たに取組まれる事業に対しても、支援の対象としています。 【令和6年度当初予算に盛り込まれた主な事業】 ○まんが・アニメツーリズム推進事業 24,260千円</p>	<p>輝く鳥取創造本部 まんが王国官房</p>
	<p>伝統的建造物保存地区の古民家・町家については、継続的に補助事業で修理や修景を行っており、引き続き魅力あるまちづくりを支援することとしています。 【令和6年度当初予算に盛り込まれた主な事業】 ○文化財助成費 178,706千円</p>	<p>地域社会振興部 文化財課</p>
	<p>県では、市町村が実施する街並みや景観形成等美しい街並みづくり、市町村が実施する新たな滞在風景づくりに資する実証実験等へ支援することとしています。 【令和6年度当初予算に盛り込まれた主な事業】 ○とっどりの美しい街なみづくり事業 6,204千円</p>	<p>生活環境部 まちづくり課</p>
	<p>ウォークについては、県では、県中部の特徴を活かした「ウォーキングリゾートとっどりの取組を推進しており、引き続き、SUN-IN未来ウォーク、1市4町が行うウォーキングイベント、海外へのプロモーションに支援することとしています。 【令和6年度当初予算に盛り込まれた主な事業】 ○鳥取中部ウォーキングリゾート推進事業 3,200千円</p>	<p>中部総合事務所 県民福祉局</p>
	<p>癒しについては、鳥取中部ふるさと広域連合が取り纏めた「第3次鳥取中部広域観光ビジョン」(令和6年度～令和10年度)において、鳥取県中部観光の将来像を「癒し」をテーマとした地域魅力の結びつき」としており、県としても中部圏の1市4町と連携しながら「癒し」をキーワードとして国内外からの誘客を図っていきます。 【令和6年度当初予算に盛り込まれた主な事業】 ○鳥取中部圏広域観光連携推進事業 15,000千円</p>	<p>中部総合事務所 県民福祉局</p>
	<p>関金については、湯命館、倉吉線廃線跡ウォーキング、里見祭等魅力的な観光素材があることから、引き続き、倉吉市、(一社)倉吉観光MICE協会等と連携・協力しながら、観光素材の磨き上げ、内外への情報発信を行ない、国内外からの誘客を図っていきます。</p>	<p>中部総合事務所 県民生活局</p>
	<p>クライミングについては、「倉吉スポーツクライミングセンター」で開催する各種大会等に、令和6年度も県で経費等を支援するとともに、クライミングの聖地としてPRしていきます。</p>	<p>地域社会振興部 スポーツ課</p>

<p>1 コンテンツ活用の県支援 (2)特に円形劇場への格別の支援をお願いしたい ①県民の施設利用の促進施策 (We Love 山陰キャンペーンのような)</p>	<p>県内観光施設の周遊を促進するため、鳥取県観光連盟がデジタルスタンプラリーや観光施設の割引等を行う「トリパス」の取組を実施しており、来年度も引き続き実施していきます。</p>	<p>輝く鳥取創造本部 観光戦略課</p>
	<p>フィギュアミュージアム等の観光施設や飲食店を掲載する情報ツール「ここいこマップ」(デジタルマップ)などにより、鳥取県中部管内への観光誘客及び圏域内の周遊を推進している(一社)鳥取中部観光推進機構に対し、引き続き支援を行っていきます。</p>	<p>中部総合事務所 県民福祉局</p>
<p>1 コンテンツ活用の県支援 (2)特に円形劇場への格別の支援をお願いしたい ②県立美術館開館に合わせた円形劇場案内看板の設置</p>	<p>令和7年春の県立美術館開館に向け、「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」交通アクセス部会において、倉吉市等と連携して県立美術館の道路案内標識の整備を検討中です。なお、各施設案内については、倉吉市等による観光案内が基本となると考えますが、県としても道路占用などできる限りの支援を行っていきます。</p>	<p>中部総合事務所 県土整備局</p>
<p>1 コンテンツ活用の県支援 (2)特に円形劇場への格別の支援をお願いしたい ③まんが王国鳥取の新たなイベント開催</p>	<p>円形劇場くらしフィギュアミュージアムへの訪問を促すため、関係団体と連携しつつ様々な媒体を活用して情報発信を行います。</p>	<p>輝く鳥取創造本部 まんが王国官房</p>
<p>2 山陰道国道179バイパス、北条湯原道路充実、自動車専用道化 (1)県立美術館開館に合わせた「国道179号はわいバイパス」整備促進をお願いしたい (2)地域高規格道路「北条湯原道路」の自動車専用道路による整備促進をお願いしたい</p>	<p>国道179号はわいバイパスについては、令和元年度に事業化し、用地買収を進めているところであり、地元のご理解を頂きながら、今後も引き続き早期整備に向けて取組んでいきます。</p>	<p>県土整備部 道路建設課</p>
	<p>北条湯原道路のうち、鳥取県区間については鋭意工事を進めており、地元のご理解を頂きながら、今後も引き続き早期整備に向けて取組んでいきます。なお、倉吉西IC～倉吉南IC間については、令和7年3月開通予定を公表したところです。</p>	<p>県土整備部 道路建設課</p>
<p>3 特色ある高校教育の推進 (1)県中部の高校の空洞化防止の施策として、倉吉東高校が取り組んでいる「バカロレア」等、特色ある高校の取り組みをお願いしたい</p>	<p>倉吉東への国際バカロレア教育導入の他、倉吉農業高校ではスマート農業の実践や和牛飼育に取り組んでいます。また、鳥取中央育英高校では、生徒たちがスポーツ指導者として地域の小中学生等と関わる取組(育英スポーツアカデミー)を始めます。 高等学校の魅力化には、地元市町村との連携が不可欠であり、今後も地域と連携しながら、継続して取組んでいきます。 【令和6年度当初予算に盛り込まれた主な事業】 ○つながる ひろがる 高校魅力充実事業 11, 122千円 ○地域に根ざした魅力ある学校づくり推進事業 40, 828千円</p>	<p>教育委員会 高等学校課</p>
<p>4 2025関西万博開催時の大阪からのシャトルバス、スーパーはくと増便 (1)万博開催を鳥取県、倉吉への交流人口増の機会として、具体的で強力な引き込み策をお願いしたい (2)万博開催後のスーパーはくとの継続的な利用増につながる、関西圏への広報につなげてほしい</p>	<p>万博期間中(令和7年4月13日～10月13日)の本県を日本の魅力が溢れるとっとりリアルパビリオンとして国内外からの来場者に対し発信し、県内の観光、食、体験メニュー、イベントへの誘導を図っていきます。 具体的には、市町村や観光事業者等との連携により県内の観光情報や通年イベントを一元的に情報発信するポータルサイトの設置やSNSを使った個人への効果的な情報発信などを行い誘客を図っていきます。また、観光コンテンツの多言語化や二次交通整備等を整備していきます。 加えて、国内外の旅行事業者に対し関西からのシャトルバスや名探偵コナン仕様にラッピングされたスーパーはくと等を利用した関西発の当県へのツアー造成を通じて国内外観光客の誘客につなげていきます。</p>	<p>輝く鳥取創造本部 国際観光・万博課</p>
	<p>「スーパーはくと名探偵コナンラッピング列車」が令和5年12月3日から運行開始され、さらに令和6年3月15日のダイヤ改正において、1便増便が発表されたところです。令和6年の智頭急行開業30周年などを捉えた関西地区へのイベント出展・PRなどを通じ、鳥取県内の誘客を図っていきます。</p>	<p>地域社会振興部 交通政策課</p>
<p>5 空き家空き店舗の民泊施設への活用の際の鳥取県条例の規制緩和 (1)空き店舗解消促進のためには、構造設備、建築の基準及び営業許可基準の緩和等、県条例の規制緩和をお願いしたい</p>	<p>ご意見にある構造設備、建築の基準は、県条例ではなく、「既存の戸建住宅を活用したゲストハウス・民泊の建築基準法上の取扱い」として定めているものです。この取扱いは、建築基準法の基準を一部緩和したものであるため、既存住宅をゲストハウス等への転用される場合は、同取扱い基準の活用をご検討下さい。</p>	<p>生活環境部 住宅政策課</p>
<p>6 鳥取県小規模事業者等経営支援交付金人件費配分額の増額 (1)過去5年間を見ても県交付金の人件費配分額はほぼ同額で変わっておらず、当会議所の人件費実績との乖離が進み、令和5年度においては約360万円となっているため、実際の人件費に見合う額に増額をお願いしたい</p>	<p>鳥取県小規模事業者等経営支援交付金(以下「交付金」という。)の人件費については、従来から商工会議所共通の単価を設定して積算を行っているところ。 いただいたご意見については、今後の交付金のあり方検討における参考の一助とさせていただきます。引き続き貴会議所と協議しながら、県としての支援の方策を検討していきます。 【令和6年度当初予算に盛り込まれた主な事業】 ○鳥取県小規模事業者等経営支援交付金 873, 655千円</p>	<p>商工労働部 企業支援課</p>

<p>7 県立美術館隣接地への「商業情報複合施設」設置への県支援</p>	<p>鳥取県立美術館には館内にカフェレストランとショップを設けることにしており、美術館の評価とブランディング等に資する内容にするよう、現在、SPC（鳥取県立美術館パートナーズ株式会社）が事業者の選定等の準備を進めています。</p> <p>美術館の敷地内には、この他に商業施設を設ける予定はないことから、立地する倉吉市街の商業機能等との人の流れや相互割引などの連携が図れるよう、SPCと共に検討しています。</p>	<p>教育委員会 美術館整備局</p>
<p>8 事業所における返済負担の軽減策 (1)いわゆるゼロゼロ融資について、国の負担による利子補給期間延長を国にお願いしたい (2)新たな超長期かつ低利・低保証料率の全国統一の融資制度の創出を国にお願いするとともに鳥取県独自の支援策も対応してほしい</p>	<p>ゼロゼロ融資の返済本格化を迎える中、中小企業等が倒産への不安を抱えることなく長期的な視点で経営の安定を図りつつ、正常軌道に戻っていけるよう、借換保証制度の取扱期間の延長や保証期間の延長、新たな資金需要に対応するための既存借入債務の劣後化等各種制度の充実について要望しており、引き続き国に働きかけていきます。また、県においてゼロゼロ融資の無利子期間の終了を見据えた借換資金の新設や借入企業に対するフォローの強化を令和6年度当初予算において提案しています。</p> <p>【令和6年度当初予算に盛り込まれた主な事業】 ○コロナ融資に係る経営安定化対策事業 56,850千円</p>	<p>商工労働部 企業支援課</p>
<p>9 インバウンドの推進 (1)今秋の韓国定期便復活に続き、香港便、台湾便のチャーター便の充実、定期便化に向けての格段の施策実施をお願いしたい</p>	<p>令和5年10月25日に米子ソウル便の運航再開が実現し、令和5年12月18日から令和6年2月26日まで米子香港便が就航しました。引き続き、米子ソウル便の増便、米子香港便の通年運航、米子上海便の再開、台湾定期便就航に向けて航空会社や旅行会社への働きかけを継続するとともに各市場における知名度向上のためのプロモーションを強化していきます。</p>	<p>輝く鳥取創造本部 国際観光・万博課</p>